

節分は年に4回！

毎年2月3日のイメージが強い「節分」は、もともと各季節のはじまりの日（立春・立夏・立秋・立冬）の前日のことを意味するので実は年に4回あります。特に立春は1年のはじまりとして尊ばれたため、日本では節分といえば春の節分を指すようになっていったそう。ちなみに来年2021年は立春が2月3日なので、その前日の2月2日が節分になります。

柊鰯（ひいらぎいわし）で魔除け



出典：[https://www.instagram.com \(@_rararu_\)](https://www.instagram.com (@_rararu_))

「柊鰯（ひいらぎいわし）」は、節分いわしや焼嗅（やいかがし）とも呼ばれ、焼いた鰯の頭を葉付きの柊の枝に刺し、門口（玄関など）に取り付けて鬼が家に入ってくないように

にする風習のこと。

昔から尖ったものや臭いものには魔除けの効果があるとされていて、柊鰯の風習は平安時代に描かれた『土佐日記』にも登場しています。

節分の行事食



出典：[https://www.instagram.com \(@kuma.1012\)](https://www.instagram.com (@kuma.1012))

古来から季節の変わり目には邪気が生じると考えられており、豆まきをして邪気を追い払い新たに迎える年の無病息災を願うなど、日本各地で様々な節分行事が行われてきました。

その年の恵方に向けて丸かじりする恵方巻、柊鰯にちなんでいわし料理、けんちん汁やこんにゃく料理など節分の行事食は地域によって特色があるのも興味深いですね。